

シリーズ  
原発・いのち・みらい  
その26

# 低線量被ばくは 本当に安全か？

## 第二回目の出前講座を開催

四月二十四日、石川県保険医協会の「原発・いのち・みらいプロジェクト」の一環として出前講座第二回目が、医療法人社団 健巧会主催により、江守クリニック(金沢市・内科)で開催された。プロジェクトメンバーの吉田均先生(能美市・小児科)が「放射線の健康被害〜低線量被ばくは本当に安全なの?」をテーマにお話しされ、会場には江守クリニックや江守歯科医院(金沢市)に通院する患者さんやスタッフなど四十人が集まり、熱心な質疑や意見交換が行われた。参加された江守歯科医院の職員の方より感想が寄せられたので以下に紹介する。

### 子どもたちのために 正しい情報が大切

江守歯科医院 職員

今回、石川県保険医協会 均先生の放射線被害のお話の出前講座に参加させてい を聞いて、自分自身も原発いただきました。講師の吉田 や被ばくについて軽く考え



講師の吉田均先生

すぎていたと反省しました。チェルノブイリの原発事故が起きた時、私は中学生でした。「雨に濡れると良くない」という話を聞いたのを覚えています。かなり昔のことですが、もういと思っていました。しかし、長い年月の間にチェルノブイリの周辺だけではなく、離れた国でも放射線被ばくの影響が出てきていることを知り、衝撃を受けました。子どもたちの健康状態が悪化し、体力のない子が増加していることや、出生率の減少など数値として現れていること、アメリカでも原発や核施設が存在した場所と乳がんの死亡患者が多い地域が一致しているという事実には、本当に驚きました。

三年前の福島原発事故以来、放射線や汚染水の問題について国からの説明に疑問を持つことはありませんが、あまり深く知ろうとはしていませんでした。志賀原発も止まっているし、石川県は大丈夫だろうと簡単に考えていたことを恥ずかしく思います。

エネルギーをたくさん使う贅沢な暮らしに慣れてしまっている私たちは、目の利益を得るために原発という本当に恐ろしいものをたくさん作り、利用しているという事実を、理解し反省しなければならぬと思います。

私も子どもをもつ母親として、子どもたちの将来のために原発だけでなく環境や健康にかかわるさまざまなことにもっと関心を持ち、正しい情報を得て、自分自身で判断していかなければならないと思えました。

## 原発・いのち・みらいプロジェクト 出前講座のご案内

あなたが所属しているサークルや町内会で、「原発・放射線」をテーマに勉強会を開いてみませんか。保険医協会から講師を派遣します。

- テーマ** 低線量被ばくの健康影響、核被害の実相や核をめぐる国際情勢など
- 講師** 石川県保険医協会「原発・いのち・みらいプロジェクト」メンバーの医師
- 費用** 講師料は無料  
交通費については別途相談

※会場の準備、参加者募集は貴方にてお願いします。詳細は同封した案内チラシをご覧ください。

＜お問い合わせ先＞  
石川県保険医協会 TEL 076-222-5373 FAX 076-231-5156  
Eメール: ishikawa-hok@doc-net.or.jp



江守クリニックで開催された出前講座の様子

# 『歯科保険診療の研究』を利用した勉強会

# 赤本勉強会

この4月の歯科診療報酬改定にもようやく慣れ始めたころと思いますが、制度をより正確に理解し、複雑なポイントを整理するために、今年も赤本勉強会を企画しました。

今回の赤本勉強会は、『歯科保険診療の研究』(赤本)に加え、『2014年改定の要点と解説』(点数検討会のテキスト)も活用しながら進める予定です。

勉強会終了後は、懇親会場に場所を移し、講師陣と参加者がざっくばらんに懇談する席を設けました。日頃聞けない疑問点などを意見交換し、理解を深めたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

- とき** 7月12日(土) 18:30~21:00
  - ところ** ホテル金沢 4階 風月
  - 講師** 石川県保険医協会・歯科部員
  - 対象** 会員(歯科医師)と  
会員医療機関のスタッフ(定員50人)
  - 参加費** 無料
- 当日お持ちいただく資料 『歯科保険診療の研究 2014年4月版』(赤本) ※歯科会員に4月末に発送しました。
- 勉強会終了後、懇親会を予定しています。ホテル金沢1階「ほり川」にて(参加費は3,000円)
- 申込み** 石川県保険医協会 電話 076-222-5373 FAX 076-231-5156